

第4回 令和7年4月17日（木）

「視野を変えるって大事なこと。」

昨年夏、アキレス腱を断裂しました。

これは悲しむべきことなのだけど、そのとき色々わかったことがありました。

「松葉づえで歩くって、こんなに大変なんだ・・・」特に階段は一休みしながらでした。

「車いすは怖いことがたくさんある」雨の日に歩行者の傘とか、大きなカバンが目の前に迫ってきます。ほんのちょっとした段差があることで、昇るのをあきらめたことも多かったです。

「私はいつギプスが取れるか先が見えていた。でもいつ歩けるようになるのか、先が見えないのは本当につらいよな」

とくに電車やバスに乗ることには本当に気を遣いました。乗客の皆さんが待たされてイライラしているような気がして、つい焦ってしまいました。

いままで大きなケガをあまりしてこなかったのに、このようなことを感じたことがあまりありませんでした。

トイレのドアが車いすだと閉まらなかったりとか（多目的トイレがどこにでもあるというわけでもありません）、町に段差がこんなに多いんだとか、手すりのない階段が至る所にあるとか、改めて気づくことがたくさんありました。

「学び」という面ではとても大きい経験でした。いまでも階段を降りるのは少し怖いので、「この階段は急すぎるな」とか感じています。（川和の裏門の階段はけっこう怖いです。）

皆さんはリーダーに成長するのがミッションです。私のようにケガをしてから気づくのではなく、いつでも視点を変えて考える思考の癖をつけてほしいと思います。

あなたの教室のカバン、誰かの歩行を邪魔したりしていませんか？

電車の中の会話、乗客の皆さんの迷惑になっていませんか？

そして周りに困っている人はいませんか？

自然とそんなことが考えられるようになってくれると嬉しいです。